

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4570102113		
法人名	有限会社 サン・ヴィレッヂ		
事業所名	グループホームたんぼぼ2号館		
所在地	宮崎市大塚町権現前920番地		
自己評価作成日	令和2年10月	評価結果市町村受理日	令和3年1月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/45/index.php?action_kouhyou_pref_search_list_list=true

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階		
訪問調査日	令和2年12月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、街に使い場所にありますが、山に囲まれ、周りは広々としており、外の景色がよく見えます。月明かりもとてもきれいです。しっかりとした土台であり、台風10号でも避難せずに対応できるほどです。少人数ならではのレクリエーションにとどまらず、特にラジオ体操は毎日2番まで行っています。職員も毎月研修を受け、学び、身体拘束廃止委員会を受け、常にみんなで考えています。有料老人ホームとの合同行事を行ったりもしています。管理栄養士の元、バランスの取れた食事も提供できています。医療面でも主治医との連携がしっかりとれており、ご家族様にも安心して利用いただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者は、利用者に寄り添い、穏やかに笑顔で過ごせる支援ができる職員体制づくりに努めている。利用者と共にケーキや団子づくり、ホームにある渋柿の渋抜きや漬け物づくりなど、生活の一環として取り入れ、利用者の楽しみとなるよう取り組んでいる。また、利用者の希望による外出支援や地域の行事への参加等、外出の機会は多かったが、感染症防止対策のため、ラジオ体操の継続や室内レクリエーションを増やすなど対応に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念、感謝の心等を、共有し実践している。実践につながるよう努力し、運営している。	利用者が安心して穏やかに暮らしていけるための「感謝の心で添え木になる」ことを基本理念として、会議や研修会で確認し日々の実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設の消防訓練には民生委員様にも声掛け参加してもらっていた。コロナ禍で、今年まではできていないが、以前はダンス交流もあっている。	自治会に加入し、地域行事の祭りや防災訓練への参加、ゴミステーションの掃除を職員が行うなど、地域交流に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在はコロナ禍で、実践できていない。地域の方とは難しいがご家族様に向けて活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	管理者が参加し、結果報告を受けている。書類にて記入を依頼し意見をもらうことができている。	会議はホームから離れた法人本部で開催しているので、利用者の状況や行事報告には写真を多く使っている。民生委員が加わり、避難訓練に参加してもらい地域の情報量も多くなり運営に反映させるよう取り組んでいる。	運営者や利用者家族も会議に参加しているが、会議はホーム外で開催されているので、利用者の日常に接する機会を設けることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	主に管理者が細かく連絡や相談、支援を受けている。	行政担当者は運営推進会議には参加していないので、待機者報告等の連絡や相談で相互の連携を図るよう取り組んでいる。。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会があり、研修を行っている。年2回外部の研修にも参加している。日々注意しながら実践につなげています。常に意識し拘束を起こさないよう業務に努めている。	身体拘束廃止委員会を定期的開催し、職員は周知に努めている。外部研修会に参加し伝達研修で意識を確認し合い、拘束をしないケアの実践に努めている。	
		管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、職員全員が身体拘束ゼロの講習を受けレポートを提出し日々、注意を払っている。絶えず勉強会を行い虐待防止に努めている。身体的、言葉の防止に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内の勉強会や他の勉強会に参加し、学ぶ機会を得ている。日常生活支援も成年後見人制度も学び活用すべきことは勤めるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族の方と話し合い十分な説明を行い理解を得られている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を置き 要望意見を聞いている。面会時にもご家族から直接話が聞けるよう また状況等お伝えしている。	来訪や電話連絡時に意見や要望を聞くようにしている。家族からの意見や要望を受け、それらを運営に反映させるよう取り組んでいる	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回会議を開いている。日々の介護の中で出てきた問題等意見は上司に伝えている。	管理者は毎月の職員会議及び日々において、職員からの意見を聞き、代表者へ提案するなど運営に反映させるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間に関してはタイムカードの導入で、把握されている。代表者が、職員を把握してくれている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回研修会を行い参加する機会をいただいている。コロナ渦で実践できていないが各部署または全体で勉強会やロールプレーを行って、モチベーションを高める取組をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の介護施設や医療関係との勉強会相互訪問の活動に参加している。地域包括支援センターも会議にも参加している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ゆっくり時間をかけ本人の不安、希望を聞き家族にも本人が言えない事等を聞き、関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安要望等は特によく聞くよう努めている。はっきりしていないことは個人の考えを言わないように心がけて信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様に一番良いサービスで、必要なサービスを利用してもらえるよう努力している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的に介護するのではなく施設で共に暮らす仲間と思う気持ちで接している。利用者によってできることが違うのでそれを見極めながら手伝ってもらったりを意識している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人家族職員が本人を中心に共に支え合う関係をつくっている。電話や来設時には職員から声をかけ利用者様の状態などをお伝えするようにしている。家族様の要望も聞き入れながら共に支え合うようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の気持ちを考え会話をしこれまでの関係を途切れないようしている。これまで大切にしてきたことを大事にし関係が途切れないよう支援している。	若いころの友達や行きつけの場所などの話題づくりをし、得た情報で美容院に行くなど、家族の協力の下、関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲のいい利用者同士には席を近くにしたりレクリエーション等でも一緒に行動できるよう配慮している。午前は口腔体操、午後はレクリエーションに参加していただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても必要とあればフォローして支援していきたい。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思い、希望に努めるようにしている。その人らしい暮らしを大事にするため、以前の暮らしを本人家族に伺いできるだけ近づけるようにしている。	利用者と趣味や生活歴を会話に取り入れたり、回想法の一部を利用して、言葉や表情及び動作等から、希望や思いの把握に努め、実現できるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握に努め可能な限り一人ひとりの暮らし方に添ったサービスの提供に努めている。生活歴や暮らし方環境を家族や以前のケアマネジャー等に聞き、把握する。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の1日の過ごし方状態等を把握し次の勤務の職員に送り、全員で共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人ひとりと家族、ケアマネジャー、受け持ち職員で話し合い意見やアイデアを持ち寄り次回につなげている。会議において話し合い計画モニタリングも行い現状に即して介護をする努力をしている。	一人ひとりの利用者及び家族と職員、ケアマネジャーで話し合い介護計画を作成している。毎月モニタリングを行い、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月1回の職員会議で情報の共有をしている。見直しにも活かされている。記録等も細かく記入しその時の状況等他の職員にも理解できるよう情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々で生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々で生まれるニーズに対しては柔軟に対応し最良の支援に通じるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりの利用できる地域資源を把握しより良い暮らしができるよう支援している。主にご家族や医師等の支援、コロナにより自粛していますが、ボランティアの支援も利用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診はかかりつけ医と事業所とが常に連絡を取り合い適切な医療を受けられるよう支援している。突発的な事にも24時間対応していただいている。	皮膚科、眼科、精神科のかかりつけ医の受診には、家族と共に職員も同行し、情報提供や受診内容を共有している。協力医による月2回の訪問診療があり、緊急時や入院を要する場合は母体病院との連携が得られるよう協力体制づくりに取り組んでいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の生活の中で気づきや情報等を往診前にFAXで、事前に報告し、スムーズに診療が受けられるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から往診制度を取り入れ利用者が入院等の時情報交換や相談がスムーズに行えるよう関係づくりをしている。入院時密に連絡を取り、早期退院できるよう情報、相談に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・終末期においても家族(本人とも)早い段階から話し合い、方針を共有している。	入居時に終末期、看取りについてホームの指針を説明し、家族の意向を確認し同意書を交わしている。看取りには医師や訪問看護師の24時間体制で支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故に対しては電話連絡はもちろん、初期の対応に対し、応急手当、訓練し、勉強会もしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	1号館と合同で防災訓練を行っている。施設はしっかりとした土台の上であり、避難せずに安全だと言われているが消防、避難訓練を行っている。	コンセントの点検等で失火予防に取り組み、3日分の食料を備蓄している。階下の1号館と合同で、年2回昼夜を想定した避難訓練を行うなど、災害対策に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇研修で学んだことを職員全員で取り組んでいる。いつも利用者の人格と誇りを損傷がないよう言葉遣いや内容には十分気を使っている。	毎月のプライバシー研修会では、利用者だけでなく職員同士の会話にも敬語を使い、大きな声で話さないよう配慮している。排せつ、入浴時の羞恥心にも配慮し一人ひとりの人格を尊重した対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるだけ本人の希望に沿うような言葉かけをしている。施設で行うレクリエーションや行事には利用者の希望や手伝いのお願いをし積極的な参加を促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせて心がけている。日々の介護の中で希望を聞き行事やレクリエーションの時に合わせるようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服を選んだりその人らしいおしゃれを支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事は決まっているので行事等の時利用者と一緒に好みのものを作る計画を立て実際に作る。テーブルふきや御盆ふきをお手伝いしていただいています。	誕生会や季節の行事等ではケーキや団子、おはぎを作り、利用者も参加して食事を楽しむことができるよう取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量、水分量を記録しなるべく摂取できるよう支援している。管理栄養士が管理し状態に応じて刻みやトロミの提供をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできる人には声掛けし、行えない人には職員が介助している。歯間ブラシ、口腔状態にあったケアを心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	声掛けや誘導して排泄の自立や介助を行っている。排泄パターンを知り時間ごとに声をかけたり誘導したりしている。	排せつパターンを把握し、早めのトイレ誘導による排せつ支援により、排せつ用品と不快感の軽減になるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量、食事量腹部マッサージを取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日や時間帯は決まっているが希望やタイミングに合わせて入浴していただくように心がけている。あとに変更したり翌日にしてもらったりしている。	1日3名づつ週2回の入浴を行っている。入浴を拒む場合は声掛けやタイミングなど対応するよう努めている。信頼関係を大事に個々に沿った入浴を楽しむ支援に取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	外出したり受診した日には早めに臥床を促している。部屋の温度、照明の調整をしている。その日の状態に応じて休息休眠していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送り等で確認し服薬介助時には必ず日、記名を読み上げながら二人で確認している。症状の変化、内服後の症状の変化にも気を配っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を活かした役割を考慮し職員と一緒に自室の片付けや共用の空間の片付けの手伝いをしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	コロナ禍で外出自粛していましたが11月2日利用者様とコスモスを見に行きました。季節感のあるレクリエーションに努めている。	毎月外出レクリエーションを実施していたが感染症対策のため外出は少なくなっている。室内レクリエーションを充実させるなど対応に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は所持してもらっていない。自分で支払いができるようにもっていかれたらと思う。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎日家族と電話のやり取りをしたり必要時職員に電話依頼できている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は日々職員が分担して清掃をしている、ホールの壁等に飾り物を作り季節感を感じていただいている。音、光、温度等常に配慮しているいつも誰でも気持ちよく使用できるよう清潔に保っている。	高台にあり遠方まで一望し、採光、換気とも良好で動きやすい広さのホールで、食事やリクリエーションを行っている。日常的に机、椅子や手摺り、ドアノブなどの手が触れる所の清拭や、室温や換気など健康管理に留意している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ室の周りにソファを置き、一人または気の合ったもの同士一緒に視聴できるようにしている。自由にいける場所を設けている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に絵や写真を貼ったり好みのものを活かしたり居心地よく過ごせる工夫をしている。家族の写真を飾ったり壁に貼ったりしている。、家族に依頼し使い慣れたものや好みを持ってきてもらっている。	利用者と家族は使い慣れた寝具や椅子、日用品や家族写真等を持ち込み、自由に配置し居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者一人ひとりの「できること」「わかること」を活かしレクリエーションを工夫したり職員ともに作業をしている。トイレの案内板手すりの設置、居室入口や椅子に名前の表示をしている。内部は安全であり自立した生活ができるようにしている。		